

病院長名	北川 喜己
〒454-8502	
所在地	愛知県名古屋市中川区松年町 4 丁目 66 番地
交通案内	市バス：名古屋駅 名駅バスターミナル 4 番または 21 番 幹線駅 2 東海橋・野間駅 行き 玉船町 3 丁目 下車 名鉄神宮前駅 3 番 幹線宮 2 権野・中川庫前 行き 昭和橋 下車 地下鉄：六番町 3 番出口 市バス幹線宮 2・高畑 4 番出口 高畑 18 港区役所行き



□ 病院の特徴

日本海員掖済会は明治 13 年に設立された日本で最初の公益法人です。掖済という意味は「腋に手を添えて導き、たすける」という意味です。東京に本部を置き、全国で 8 つの病院、4 つの診療所、2 つの老健施設、1 つの看護学校を運営しています。名古屋掖済会病院はその 1 つの病院で、昭和 23 年に設立され、病床数 602 床、職員数 1,300 名医師は研修医を含めて 190 名です。愛知県で最初の救命救急センターを開設し、災害拠点病院、地域医療支援病院、愛知県がん拠点病院、卒後臨床研修評価機構から認証などの指定を受け、名古屋市西部の拠点病院として、救急医療と高度先進医療を行っています。

□ 研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

名古屋掖済会病院外科専門研修プログラム

【研修目標】

医師として必要な基本的診療能力および外科領域の専門的診療能力を習得することにより、標準的な医療を提供でき患者への責任を果たせる外科専門医となる。

【研修期間】

3 年

【研修スケジュール】

専攻医の研修は、毎年の目標と達成度を評価しながら進められる。専門研修 1 年目では、基本的診療能力および外科基本的知識と技能の習得を目標とする。2 年目では、基本的診療能力の向上に加えて、外科基本的知識・技能を実際の診断・治療へ応用する力量を養うことを目標とする。さらに学会・研究会への参加などを通して専門知識・技能の習得を図る。3 年目では、様々な疾患へ対応する力量を養うことを目標とし、チーム医療において責任を持ち後進の指導にも参画する。



▲腹腔鏡手術の現場

□ 主な連携施設

名古屋大学医学部附属病院、愛知医科大学病院、大同病院、常滑市民病院、公立西知多総合病院、中部労災病院、稲沢市民病院

□ メッセージ

指導医（外科部長 山口 直哉）

当院での外科研修は、消化器・乳腺・呼吸器・腹部救急を行う一般外科部門と、心臓血管領域を扱う心臓血管外科より構成されています。ここ数年の年間手術件数は合計約 1200 件です。当院は愛知県有数の救急車受入台数を誇る救命救急センターを有し、腹部外傷に対する IVR やダメージコントロール手術の実績が多いのも特徴の 1 つです。また、消化器外科においては、消化管・胆嚢はもちろんのこと肝臓疾患に対する高難度腹腔鏡下手術も症例に応じて試行しています。さらに胃や直腸、鼠径ヘルニアにおいてはロボット支援手術がすでに導入されており、精力的に低侵襲手術に取り組んでいます。心臓血管外科では虚血性心疾患、弁膜症、大動脈瘤など高度な手術を行っており、外科専攻医として幅広い症例の経験を積むことができます。



□ 募集要項

・採用予定人数	6 人
・給与/月額	600,000 円～680,000 円/月額
・当直回数/月	4 回～5 回/月
・当直料/回	28,000 円～30,000 円/回
・その他	
・応募連絡先	担当者 後期研修管理室 光田
	電話番号 (052) 652-7711 (5552)
	Eメール Kouki-kenshu@ekisai.or.jp